

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第4号

ナシ黒星病の発生について

5月5半旬の調査の結果、ナシ黒星病の発生率は平年より高く前年並でした。今後1か月の降水量は、平年並〜多いと予報されており、葉や果実への感染が懸念されます。

園での発生状況に応じた防除対策の徹底により新葉や果実への2次感染防止に努めて下さい。

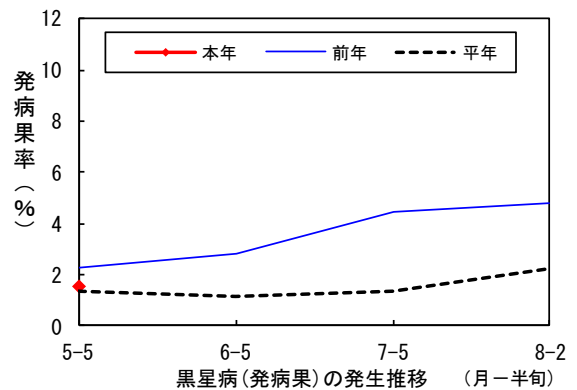
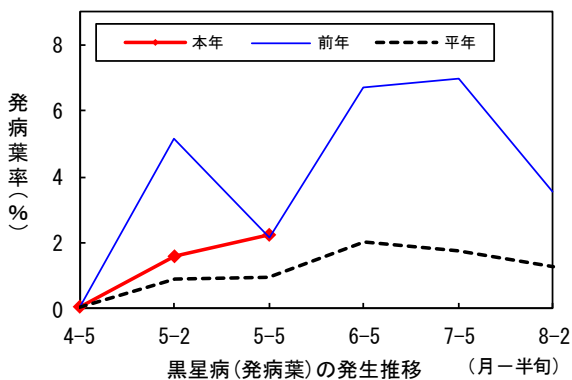
1 対象作物名：ナシ

2 病虫害名：黒星病

3 発生状況

5月5半旬調査における発生率は平年より高く、本病が多発した前年並であった。

発病葉率 2.2% (平年 1.0%、前年 2.2%)
発生ほ場率 72.7% (平年 51.8%、前年 72.7%)
発病果率 1.6% (平年 1.3%、前年 2.3%)
発生ほ場率 63.6% (平年 41.6%、前年 63.6%)



4 防除対策

- (1) 伝染源となる罹病葉や罹病果は、見つけ次第園外に持ち出し処分する。
- (2) 薬剤感受性の低下をさけるため、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- (3) 薬剤防除にDMI剤を用いる場合は、平成28年度病虫害・雑草防除の手引き 3防除方法の試験研究成果等 果樹Ⅶの項を参照のこと。

http://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/203227_51694555_misc.pdf

(4) 「幸水」の果実は開花 50 日後以降、再び感染しやすくなるため、果実への感染防止に努める。



葉柄に感染したナシ黒星病



幼果に感染したナシ黒星病